

第1回臨時会を開催

当選議員20名が初議会で役職人事を決定

平成27年第1回臨時会は、5月15日に1日間の会期で開催しました。この臨時会は、統一地方選挙後の初議会であり、正副議長などの役職人事を決定したほか、市長提案の専決処分承認案4件と、監査委員の選任に係る同意案、そして議員提出による委員会条例の一部改正案などについて審議し、採決を行いました。

議長・副議長決定

議長 松村博司



この度、議長に就任いたしました。松村博司でございます。これからの市議会は、行政

副議長 櫻井立志



この度、副議長に就任いたしました。櫻井立志でございます。議長を補佐し、議会運営

機関のチェック機能として市民のみなさまの付託に際することはもちろん、ニーズをしっかり受け止めるよう、昨年制定しました議会基本条例を遵守し、「開かれた議会」となることが重要です。より活発な議会運営に向け、最大限努力いたします。

に努めてまいります。議会は市民を代表する議決機関であることから、市民のみなさまの多様な意見を市政に反映させるため、議員間の活発な議論を通して、議会の活性化に努め、「市民に開かれた議会」をみなさまとともに築いてまいります。

常任委員会の構成を決定

総務常任委員会



委員長 河本 隆志
副委員長 河田 美穂

所管する事項
市の将来構想など政策や企画に関する事、防災・防犯などに関する事、財産・財政など総務に関する事、区・自治会や住民票・税金・年金など市民に関する事等

議長・副議長選挙により決定
統一地方選挙の市議会議員選挙後、初めての議会となった第1回臨時会では、主に議会役職人事などを決定しました。

まず、議長選挙が行われ、投票の結果、松村博司議員13票、青木綱次郎議員5票、次田典子議員1票、無効1票となり、松村博司議員(66)と東古森IIが当選し、議長に就任しました。

また、副議長選挙では、投票の結果、櫻井立志議員13票、増富理津子議員5票、次田典子議員1票、無効1票となり、

文教福祉常任委員会



委員長 青木 綱次郎
副委員長 上田 毅

所管する事項
小中学校・留守家庭児童会や生涯学習・スポーツ振興・文化財など教育に関する事、障がい・高齢者福祉や介護保険・子育てなど健康福祉に関する事等

常任委員会・特別委員会の委員を選任
議員定数を1名減の20名としたことに伴い、これまで各7名としていた常任委員会の委員定数について、総務常任委員会は6名、文教福祉常任委員会と建設経済常任委員会は7名とする、委員会条例の一部改正が議員から提案され賛成多数で可決されました。

続いて、各常任委員会の委員を選任し、それぞれ正副委員長の互選を行いました。総務常任委員会委員長に河本隆

建設経済常任委員会



委員長 鈴木 康夫
副委員長 米澤 修司

所管する事項
都市計画・道路・公園など建設に関する事、商工業・農林業や観光・ごみ処理など経済に関する事、上下水道に関する事等

志議員(みらい京田辺)、同副委員長に河田美穂議員(公明党)、文教福祉常任委員会委員長に青木綱次郎議員(日本共産党京田辺市議会議員団)、同副委員長に下田毅議員(一新会)、建設経済常任委員会委員長に鈴木康夫議員(一新会)、同副委員長に米澤修司議員(みらい京田辺)がそれぞれ就任しました。

特別委員会では、市議会だより発行のため、5名の委員で構成する広報編集特別委員会の設置と委員の選任を賛成多数で可決した後、互選を行った結果、委員長に増富理津子議員(日本共産党京田辺市議会議員団)、同副委員長に

議会運営委員会委員の選任
議会運営委員会では、委員の選任を賛成多数で可決し、互選の結果、委員長に市田博議員(一新会)、同副委員長に青木綱次郎議員(日本共産党京田辺市議会議員団)が選出されました。

広域連合議会議員及び監査委員
その他役員人事として、京都府税務機構議会議員の選出では、議長の指名推薦とすることを諮りましたが、異議が

あったため選挙を行った結果、米澤修司議員(みらい京田辺)が選出されました。

また、京都府後期高齢者医療広域連合議会議員の選出においても、議長の指名推薦とすることに異議があったため選挙を行い、岡本亮一議員(日本共産党京田辺市議会議員団)が選出されました。

そして、専決処分についての承認案4件について、すべて全会一致で承認した後、市長から人事案の提案があり、議員から選ばれる監査委員の選任について、奥西伊佐男議員(一新会)を選任することに、賛成多数で同意しました。